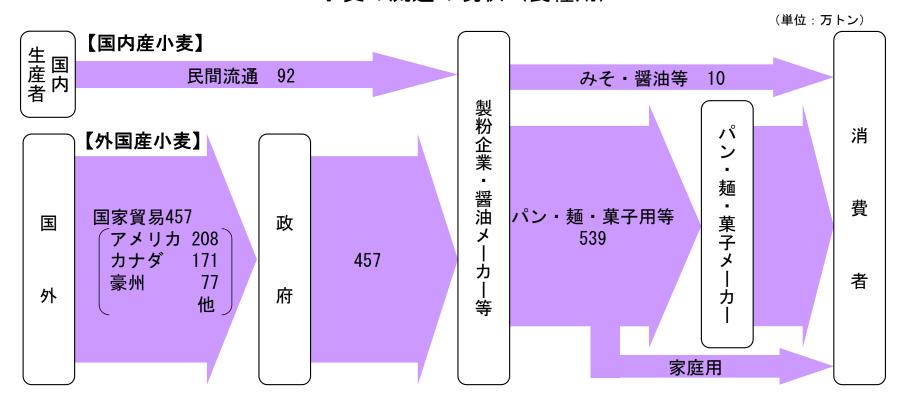
輸入小麦の政府売渡価格について (価格公表添付資料)

^{令 和 7 年 9 月} 農林水産省

小麦の流通の概要

- 〇 小麦は需要量の8割以上を外国から輸入。国内産小麦は民間流通により取引されており、 国内産小麦では量的又は質的に満たせない需要分について、政府が国家貿易により外国産小麦 を計画的に輸入し、需要者に売り渡しているところ。
- また、米とは異なり、最終的にパンや麺として消費するため、各種の加工工程を経て流通。
- 〇 小麦は、主に製粉企業が製粉して小麦粉にし、その小麦粉を原料として二次加工メーカーがパン・麺・菓子等を製造。

小麦の流通の現状(食糧用)



注:流通量は過去5年(R2~R6年度)の平均数量である。

輸入小麦の種類と用途

- 原料として使用される小麦の種類は、小麦粉の種類・用途に応じて異なっているところ。
- 小麦粉の種類は、たんぱく質の量によって、強力粉(パン用)、準強力粉(中華麺用)、中力 粉(うどん用)、薄力粉(菓子用)に分類。
- パンや麺等の小麦関連製品の小売価格に占める原料小麦代金の割合は、1%から、小麦粉(家) 庭用薄力粉)でも20%程度。

外国産小麦の 銘柄	カナダ産ウェスタン・ レッド・スプリング (1 CW)	アメリカ産ダーク・ ノーザン・スプリング (DNS)	アメリカ産ハード・ レッド・ウィンター (HRW)	オーストラリア産 スタンダード・ホワイト (ASW)	アメリカ産ウェスタン・ ホワイト(WW)
輸入数量 457万トン	150万トン	72万トン	78万トン	71万トン	57万トン
★ ★ ★ ★					
小麦粉の種類	強力粉		準強力粉	中力粉	薄力粉
主な用途	食パン		中華麺ギョウザの皮	うどん	カステラ、ケーキ 和菓子、天ぷら粉 ビスケット
たんぱく質の 含有量	11.5~13.0%		10. 5~12. 5%	7. 5~10. 5%	6.5~9.0%

小麦関連製品の小 売価格に占める原 料小麦代金の割合

食パン:約8%

中華そば(外食):約1% 即席麺(カップ麺):約1%

ゆでうどん:約4%

うどん(外食):約1% 小麦粉(家庭用薄力粉)

: 約20%

注1:輸入数量は、過去5年(R2~R6年度)の平均数量である。

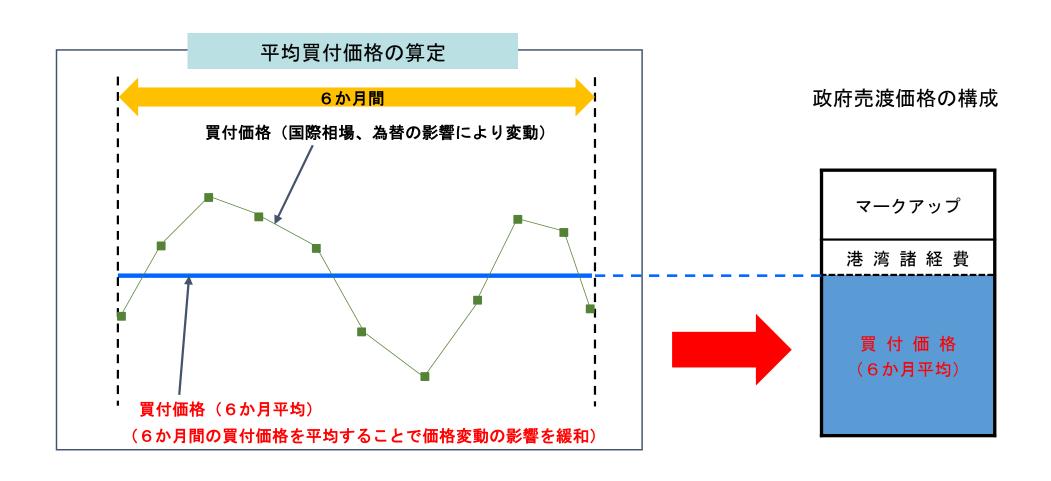
注2:輸入数量は、5銘柄以外の銘柄(デュラム小麦等)28万トンを含む。

注3:小麦関連製品の小売価格に占める原料小麦代金の割合は協力企業からのデータを元に試算したもの。

実際には、企業、製品の種類、時期等によって異なる。

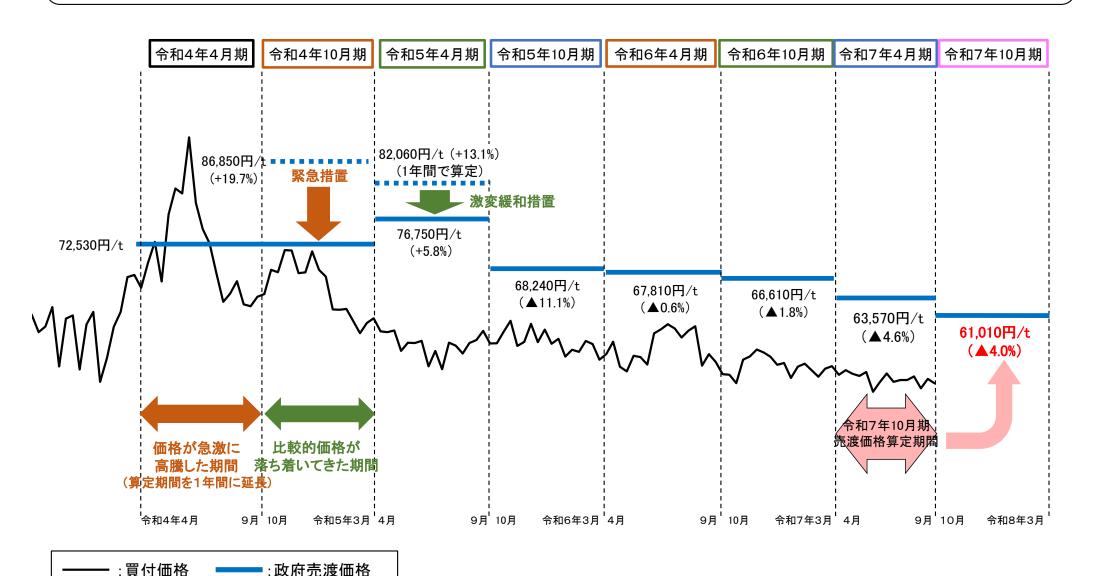
現行の輸入小麦の政府売渡制度

- 〇 輸入小麦の政府売渡価格は、買付価格にマークアップ(政府管理経費及び国内産小麦の生産 振興対策に充当)と港湾諸経費を上乗せし、年2回(4月期、10月期)改定。
- 6か月間の買付価格の平均により算定することで、国際相場の変動等の影響を緩和した上で 売渡価格に反映。



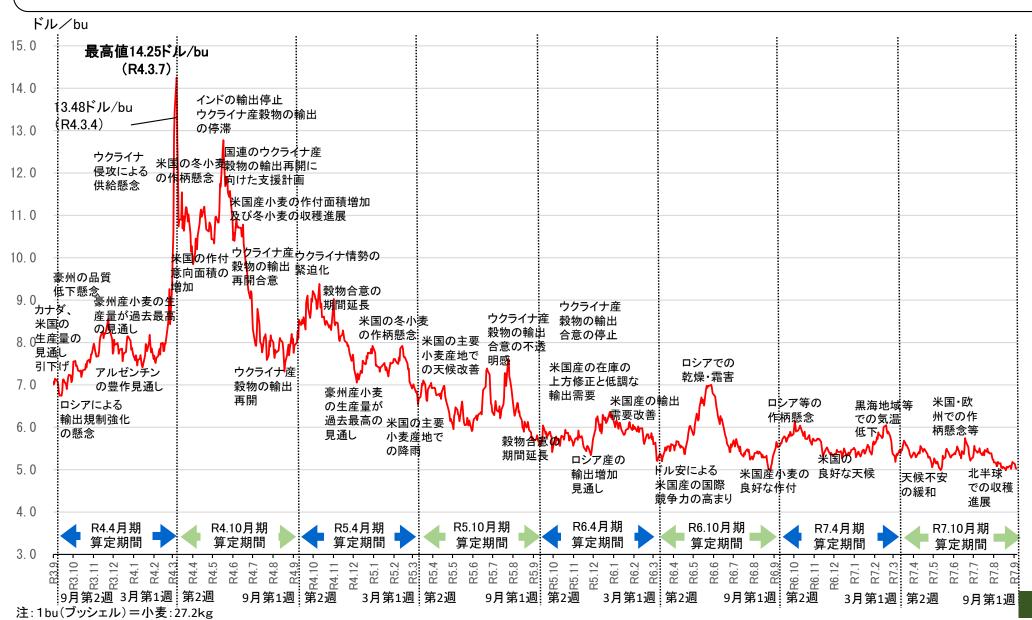
令和7年10月期の政府売渡価格

- 令和5年10月期以降、通常のルール通り、直近6か月間の平均買付価格をベースに算定。
- 〇 令和7年10月期の売渡価格も、直近6か月間の買付価格(令和7年3月第2週~令和7年9月第 1週)の平均買付価格をベースに算定。



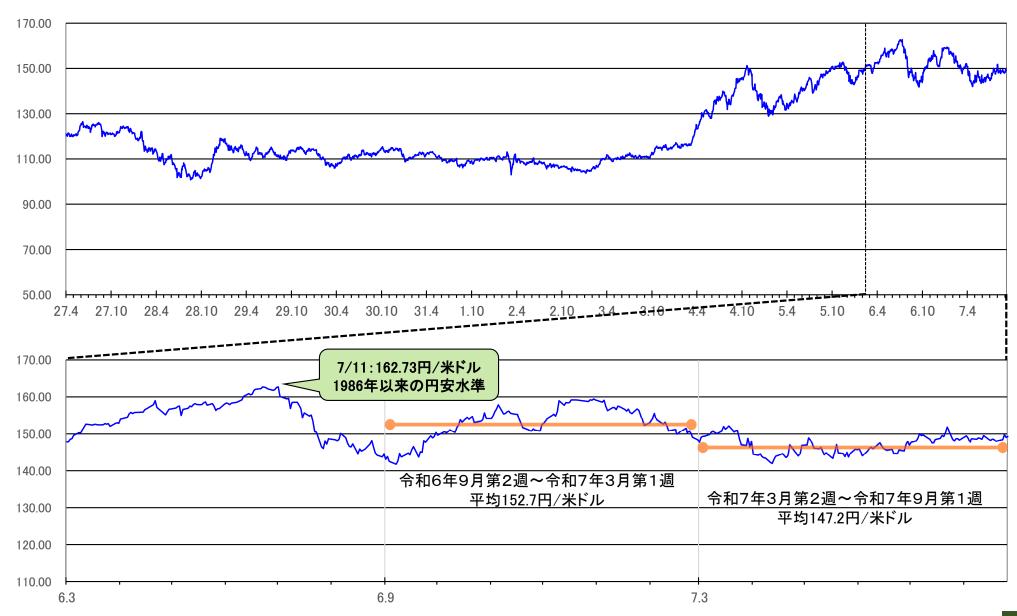
小麦の国際価格の推移

- 〇 小麦の国際価格は、ロシアのウクライナ侵攻に関連し、令和4年3月に過去最高を更新したが、代替ルートからの輸出や、主要産地の天候改善等により、同年11月以降には、侵攻前の水準まで下落。
- 〇 令和7年4月以降、中東における地政学リスクの高まりや米国及び欧州の作柄懸念を受け、5ドル/bu後半まで値を上げたものの、北半球における収穫進展を受けて、現在は5ドル/bu前半で推移。



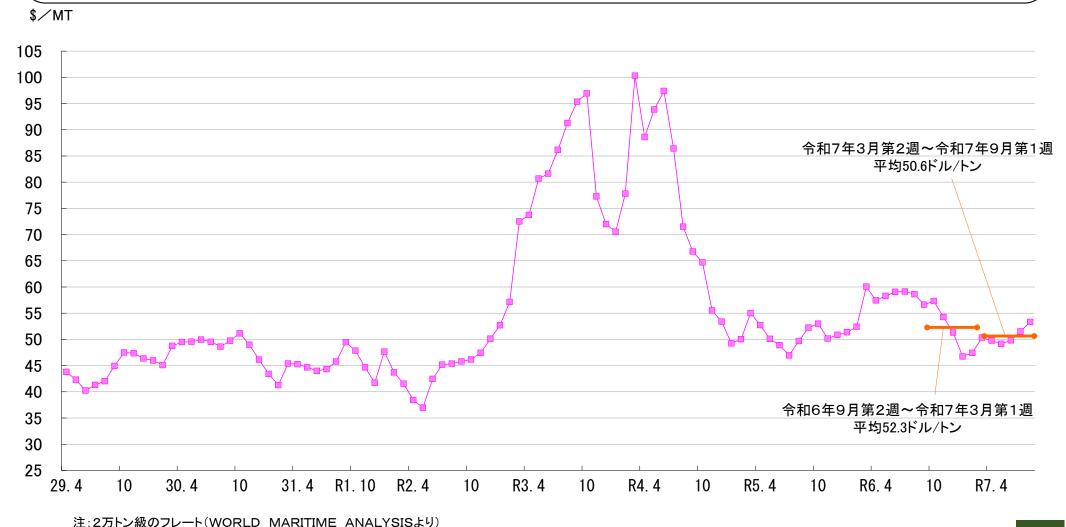
(参考)為替の動向

〇 為替は、令和6年7月には一時1ドル162円台を記録したが、令和7年4月以降は主に140円台 で推移。令和7年10月期の算定期間の平均は1ドル147.2円。



(参考)海上運賃の動向

- 海上運賃は、新型コロナウイルス感染症の影響による荷役効率の低下や、ウクライナ情勢の影響 等により、令和3年度まで急騰したものの、中国向け貨物輸送等の低調等により、令和4年6月以 降下落。
- 中国経済の減退等による需要減の一方、米国の関税措置に伴う駆け込み需要等により、令和7年10月期の算定期間の平均は、前期と比べてほぼ横ばいの50.6ドル/トン。



輸入小麦の政府売渡価格の推移

* 政府売渡価格

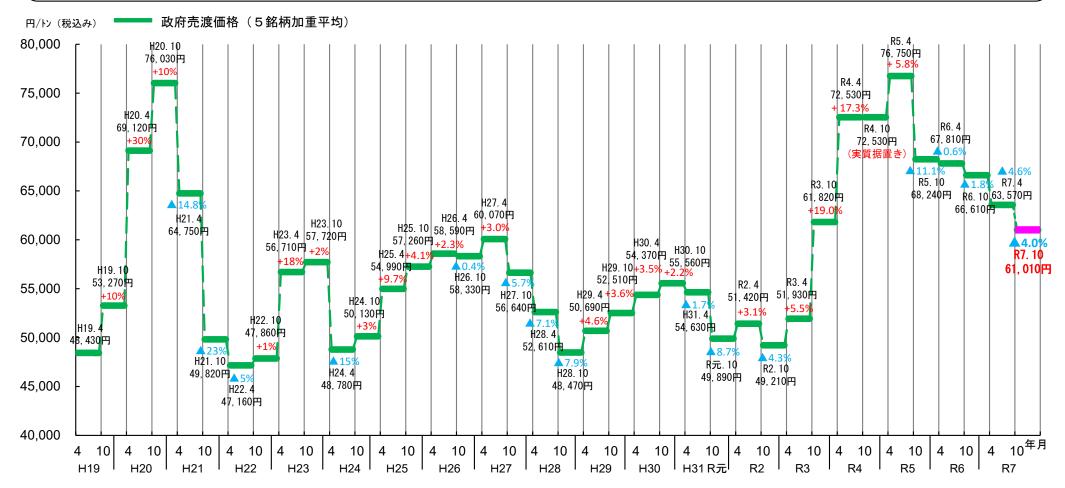
令和7年4月期 63.570円/トン 令和7年10月期

61,010円/トン(▲4.0%)

(参考)

過去高かった政府売渡価格: 76,750円/トン(R5.4)、76,030円/トン(H20.10)、72,530円/トン(R4.4、R4.10)、69,120円/トン(H20.4)

過去大きかった引下げ率: ▲23%(H21.10)、▲15%(H24.4)、▲14.8%(H21.4)、▲11.1%(R5.10)、▲8.7%(R元.10)



注:平成25年10月期以前は、消費税5%込みの価格であり、平成26年4月期以降は、消費税8%込みの価格である。